

<目次>

県計画各論シリーズ

特集

産業基盤の強化

- ♣ 交通計画 8
- ♣ 港湾計画 14
- ♣ 通信計画 26
- ♣ 利水計画 27
- ♣ 電力計画 30
- ♣ 防災計画 33

建設譜

- 1. 九州縦貫高速自動車道 12
- 2. 阿蘇スカイラインと城北開発横断道路 14
- 3. 緑川総合開発 31
- 4. 玉名平野土地改良事業 31
- 5. 羊角湾国営パイロット 31
- 6. 森林と流域をまもる 35

■第一線の人びと

原野に水を呼ぶ 25

随想 宮嶋羊邨・出口一子・下荒磯 滋

★グラビアページ★

若者のうたごえ・地域開発の足場・新産業風土記

★センターカラー（甘夏の里）

表紙の言葉（芦北海岸県立自然公園）

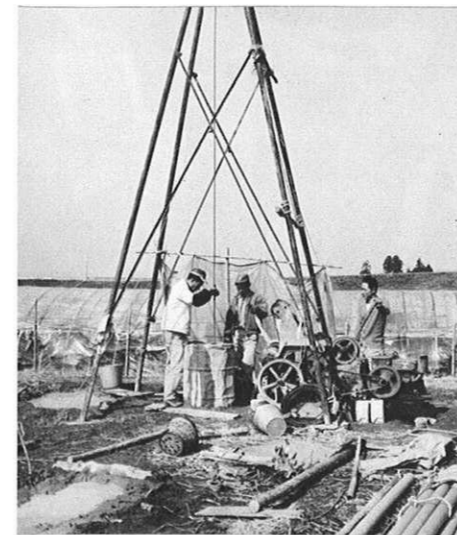
芦北海岸はリヤス式海岸として、すぐれた温泉郷が点在しているが、その中の一つである水俣市湯の見は、不知火海をへだてて天草を望み、その空と海の青の間にみる点景は圧巻だ。（K）



上・ビニールハウスの中はすくすくと伸びるカラー



上・選別所の作業は分担してスムーズに……



上・ボーリングで用水確保作業



上・出荷がすんだ後は、次の作業の打合わせを

菊池郡七城村のカラー組合

花屋さんの店先でよく見かける白いカラーの花。この花の清そなたたずまいと純日本的な情趣は、いけば花の素材としても重宝がられている。

ここ七城村前川部落のカラー組合は、発足してこととして七年目になるのだが、そもその出発は三名の同志だった。その後、実績は順調に伸び組合員もふえ、栽培面積もふえ、市場開拓も軌道にのってきた。いちばんの難問題であった水不足もボーリングに踏切って一応解消、そして昨年十月には共同集荷選別所も建設した。

現在、組合員は三〇名。栽培面積二・二ヘクタール。作業はすべて共同で進められ、選別、荷づくり、発送と組合員が夫々分担して行なわれている。もともと農家の副業だから、こういった作業はすべて夜になる。しかし片手間仕事といっても、カラーの収入は農家収入の八割を占めているのだから馬鹿にならない。主な出荷先は、九州一円、京阪神、富山、長野など四〇を越える市場を確保。ことしは東北地方を開発しようという若き夢と情熱はひろがる一方。四六年には作付け面積を五ヘクタールまで伸ばし、沖縄、韓国市場への進出をぜひ実現したいとハリキッている。